



## 5. 課題等

項目		市所管課	団体
S W O T 分 析	内部分析	強み	・ 荘川を含む県内5ヵ所でゴルフ場を経営しており、東海地区最大級のゴルフクラブとして中京圏を中心に約1万4千人の会員を有する。
		弱み	・ 資金力と時間に余裕のある高齢世代に頼った業態であり、団塊世代の高齢化によりゴルフ業界は先行きが不透明な状況である。
	外部分析	機会	・ ゴルフは老若男女ができるスポーツとして認識されているが、幼少期から体験する機会が少ないためスナッグゴルフなど手軽にできるものを小学生に体験してもらうなど、ゴルフ人口の増加を目指している。
		脅威	・ 少子化や団塊世代の高齢化、レジャーの多様化などにより、国内のゴルフ人口が減少している。
事業面 (必要性、公益性、採算性、収益性など)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 倶楽部の活性化に努めたが、5ゴルフ場で来場者数は横ばいで、純利益は前期比71.1%減と厳しい状況であり、採算ベースでの経営が行われている。</li> <li>・ 自然環境との共生、適度な運動による健康への好影響、ゴルフ場利用税などの税収への貢献など、一定の社会性が見込まれる事業である。</li> </ul>	
財政面 (財務状況の現状や将来の見通しなど)		・ ゴルフ場業界の見通しとして資材価格等の高騰をはじめとした物価上昇に伴う運営コストの増大、また労働人口の減少により人材の確保が困難となり、安定した利益を確保するには厳しい経営環境が続くものと予想される。	
施設・設備 (所有する建物や設備等の状況など)		・ 絨毯張替、乗用3連グリーンモア更新	
組織・人員体制 (役員や従業員等の状況など)		・ 他ゴルフ場から配置替えができるため必要なスタッフは確保できるが、人員確保が難しくなっている傾向にある。	
公共施設等総合管理計画 (方針と今後の考え方)		—	
自由記載 (団体や事業の今後のあり方や果たすべき役割について)			